

明治元年に日本人が集団的にハワイやグアムに契約移民として渡航してから150年以上を経た。現在、世界の日系社会は、約380万人（2017年現在推定数※）とも推定され、初期移民たちが相互扶助のために設立した郷村会を起源とする県人会も世界各地に存続している。一方、日本人海外移民に関して、移民卓越県においても、移民の歴史を知る人々は限られた世代となりつつある。

今回の展示では、和歌山と深くかかわる個人の遺物や記憶から、亜米利加へ、加奈陀へと渡航した和歌山県出身者の足跡をたどり、和歌山県移民史を捉えてみようとするものである。

※公益財団法人海外日系人協会

<http://www.jadesas.or.jp/aboutnikkei/> (2020/08/05)

会期：  
2020年10月16日（金）～  
11月5日（木）

会場：  
紀州経済史文化史研究所  
展示室（西5号館3階）

※西5号館において改修工事のため、  
会期が変更される場合があります。  
その場合は、ホームページでお知らせします。

開館時間：10:30～16:00  
休館日：土・日・祝日、  
および図書館休館日

和歌山大学公式YouTubeチャンネルでも公開します。

公開期間（予定）：

2020年11月6日（金）

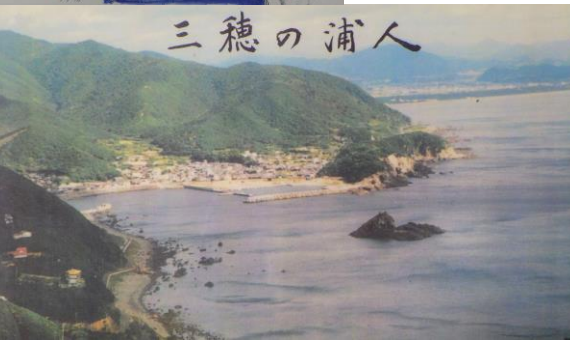
～2021年3月31日（火）

<https://www.youtube.com/user/wakayamauniv>



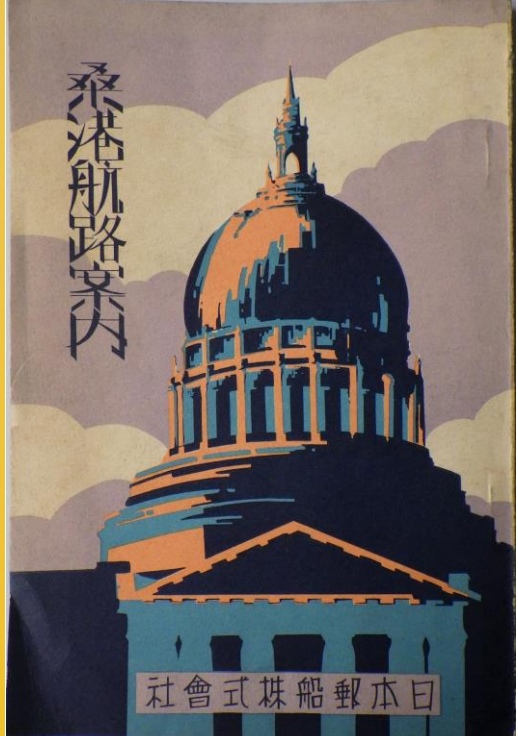
写真：『三穂の浦人』  
(2007年) 水田浩司  
氏らがまとめたもの。  
三尾村（現美浜町大字  
三尾）の大三尾から移  
民をだした家の在在所が  
緑色の円で示されてい  
る。  
(公財)和歌山県国際  
交流協会所蔵

三穂の浦人



# 亜米利加へ、加奈陀へ — 遺物と記憶から振り返る移民と和歌山

和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 紀州経済史文化史研究所 企画展



写真：『桑港航路案内』（昭和3年）日本郵船株式会社  
個人蔵

桑港へ、アリューシャン群島にそって東航しカナダ・バンクーバー港を経る北方航路と、ハワイ・ホノルル港を経由する南方航路が就航していた。



問い合わせ：

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹  
紀州経済史文化史研究所

(電話) 073-457-7891

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/>

主催：

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹  
紀州経済史文化史研究所

共催：

太地町教育委員会、美浜町、  
那賀移民史懇話会、  
NPO法人日ノ岬・アメリカ村

後援：

(公財)和歌山県国際交流協会、  
わかやま南北アメリカ協会

平成30年度科学研究費助成事業  
(課題番号：18K11777)

科研費  
KAKENHI

